



## 帯広市学校給食センター （食で育む給食研究会～オビリーネット～）

世代をまたぐ帯広の味！記憶に残る帯広の子どもへの給食を！

市内1万4千人の児童生徒に給食を提供する「帯広市学校給食センター」は、子どもの食想力を育む取組及び地域生産者・関係者とのネットワーク作りの活動を目的としています。地域の生産者と強固な連携をとることで、高い地場産使用率を実現し、児童生徒には家庭科や総合的な学習の時間、給食時間における指導のほか、バス学習等による地域の生産者との交流を通じて、食に対する興味関心を図っています。平成30年に開発された帯広市のオリジナルメニュー「オビリースープ」は、市内ホテルシェフをスーパーバイザーに迎えて完成し、旬の野菜を月替わりで提供できる柔軟性の高さから、目玉献立として広く児童生徒・保護者に浸透してきています。栄養教諭6名、帯広市栄養士2名で「オビリーネット」を結成することで継続的な活動を目指しています。



カラフル豚丼と  
川西長いもの和風オビリースープ



学校給食で使用する野菜の生産者



学校給食キャラクター「オビリー」